

報告第7号

株式会社夢街人とうじょうの経営状況の報告の件

株式会社夢街人とうじょうの経営状況について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

令和2年6月4日提出

加東市長 安田正義

経営状況報告書

株式会社

夢街人とうじょう

目 次

第21期 事業報告	1～9
参考資料	
令和元年度道の駅とうじょうオリジナル商品等の売上状況	10～11
広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況	12
道の駅とうじょう利用状況	13
道の駅とうじょう売上状況	14
決算報告書	15～20
貸借対照表	16
損益計算書	17
販売費及び一般管理費	18
株主資本等変動計算書	19
個別注記表	20
監査報告	21
参考資料	
比較決算報告書	22～27
第21期（令和元年度）部門別損益計算書	28
営業契約書（抜粋）	29～32
部門別人件費資料	33
第22期 事業計画	34～38
収支計画	39

2 1 期 事 業 報 告

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

1. 事業概要

令和元年度は、10月の消費税率引上げ、3月の新型コロナウイルスの影響など、個人消費に大きな影響を与える出来事が多かった一年でありました。

道の駅の上期売上は、台風や梅雨明けの遅れなどで、直営3部門において前年をわずかに下回りました。同下期は、消費税率引上げがあったものの、予測していたほどの影響は出ず、また、暖冬の影響もあって、コンビニ部門において、前年を上回ることができました。

しかしながら、全体の業績では、施設の老朽化に伴う修繕費などの一般管理費が増加し、経常利益は前期比 68.1%、当期純利益は 79.3%の結果となりました。

(1) 事業実績

日 時	事 業 内 容
平成 31 年 4 月 26 日 (金)	「コスモス会」令和元年度総会
令和元年 5 月 1 日 (水)	特産館 令和記念酒 販売 購入者全員に商品券 1,000 円をプレゼント 直売所 お買い上げ先着 100 人に加東市産コシヒカリ 3 合をプレゼント
令和元年 5 月 12 日 (日)	母の日 花苗をプレゼント
令和元年 7 月 27 日 (土) ～28 日 (日)	農産物直売所 すいか祭り
令和元年 8 月 15 日 (木)	台風 10 号の影響により 12 時閉店
令和元年 8 月 26 日 (月) ～30 日 (金)	小野高校インターンシップ事業受け入れ
令和元年 9 月 7 日 (土)	農産物直売所 ジャンボかぼちゃコンテスト
令和元年 9 月 8 日 (日)	農産物直売所 A B C ゴルフ場出店販売
令和元年 10 月 5 日 (土) ～6 日 (日)	農産物直売所 墨田区イベント出店

令和元年 10 月 12 日（土）	台風 19 号の影響により 16 時閉店
令和元年 10 月 23 日（水） ～24 日（木）	全国道の駅連絡会イン宇多津 出席
令和元年 10 月 25 日（金）	コスモス会役員会
令和元年 10 月 31 日（木） ～11 月 3 日（日）	マイナビ ABC チャンピオンシップゴルフトーナメント 出店
令和元年 11 月 17 日（日）	コスモスの館 播磨中央公園イベント 出店
令和元年 12 月 7 日（土） ～8 日（日）	道の駅とうじょう 大感謝祭
令和元年 12 月 22 日（日）	農産物直売所 ABC ゴルフ倶楽部 出店
令和 2 年 1 月 30 日（木）	第 21 期 上期定時役員会
令和 2 年 2 月 7 日（金）	コスモス会役員会
令和 2 年 2 月 26 日（水）	レストラン獅子銀 LED 設備工事のため臨時休業

（2）重点事項等への取組実績

重点事項等	取組実績
① 安全で快適な施設の維持を目的として、清潔で癒しのある空間提供のための環境の整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月にファミリーマート前駐車場の車止め破損、トイレ前駐車場の不陸の修繕を行った。 ・ 5 月に直売所の屋根及び獅子銀、ファミリーマート前の雨樋を点検し、7 月に工事を開始し、9 月に完了した。 ・ 2 月に獅子銀の照明を LED に交換した。
② 地場産品の展示販売、消費拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して来駅者と地域住民の交流を促し、活性化に貢献できるような企画を立案し、実行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ABC ゴルフ倶楽部、墨田区、播磨中央公園でのイベント出店、近隣ゴルフ場での販売を通して、加東市の物産の魅力を発信し、集客に繋げた。
③ 利用者（顧客）が道の駅の「休憩」「情報交流」「地域連携」の 3 大機能を通して、活気と楽しさを体感できる演出を心がける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 快適な環境提供の為、男子個室トイレの破損の修理及び男子・女子洗面所の排水詰まりの改修を行った。また備品の破損や盗難が増えた為、注意喚起を

	<p>促すPOPを作成し、配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日の客数が多い日には敷地周辺のゴミ回収、点検等を行った。 ・イベント時には館内放送を頻繁に用いて集客に努めた。
--	---

(3) 部門別の取組実績

部門	対前年度比		取組実績
	売上	入込客数	
特産館「夢街人」	<ul style="list-style-type: none"> ・対前年度 99.0% ・対前々年度 95.3% 	<ul style="list-style-type: none"> ・対前年度 89.4% ・対前々年度 91.7% 	<p>① 9月～11月に加東市商工会の専門家派遣制度を利用し、陳列・店内動線の改善を図った。酒類は価格帯別の陳列、店内中央の台には主力の山田錦商品やお菓子を配置し、商品を選びやすくした。</p> <p>② 新規業者を開拓し、既存顧客に飽きられないよう品揃えを強化した。神戸酒類販売（兵庫五国飲みくらべセット）、おがわ園（血糖力茶、目力茶）、布工房風花（播州織商品各種）、神戸メリケン工房（神戸牛すじトロ煮、神戸メリケンサイダー）を新商品として取り扱いを開始した。</p> <p>③ 営業利益 前年比 89.8% 売上げは前年比 99.0%であったが、人件費及び陳列改善に伴う消耗品などの一般管理費が増えたため、前期実績には届かなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業利益 令和元年度 9,885 千円 平成30年度 11,013 千円

<p>農産物直売所 「コスモスの館」</p>	<p>・対前年度 99.6%</p> <p>・対前々年度 95.8%</p>	<p>・対前年度 100.7%</p> <p>・対前々年度 93.5%</p>	<p>①外販売上の増加</p> <p>ふるさと納税、ゴルフ場・イベントでの販売の売上が前年比112.9%で、特にふるさと納税分は、前年980千円から1,290千円へ大きく伸ばすことができた。</p> <p>令和元年度 6,178千円 平成30年度 5,470千円</p> <p>②地元生産者農作物の売上強化</p> <p>他府県から仕入れる農産物の売上比率を下げ、地元生産者の農作物を販売し、売上げの強化を図った。</p> <p>前年は不振だった丹波黒枝豆が前年比129.1%、桃が前年比156.4%で、地元生産者の売上げ増加に大きく貢献した。</p> <p>令和元年度 100,336千円 平成30年度 93,160千円</p> <p>③花・野菜苗コーナーの変更</p> <p>店舗内に展開していた苗類を全て店外展開し、お客様が選びやすいよう工夫した。</p> <p>店内スペースが広がって、買い回りしやすくなり、売上げ及び作業効率が上がった。</p>
----------------------------	--	---	---

<p>コンビニエンスストア「ファミリーマート」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対前年度 101.7% ・対前々年度 103.8% 	<ul style="list-style-type: none"> ・対前年度 98.6% ・対前々年度 99.3% 	<p>①廃棄損の削減</p> <p>令和元年度 7,106 千円 平成30年度 7,267 千円 前年より 161 千円削減 令和元年度廃棄率 3.5% 平成30年度廃棄率 3.6%</p> <p>最低賃金の引上げで人件費が前期比 105.4%となったが、今のコンビニの状況を踏まえるとまずまずの利益が残せたと考えられる。</p> <p>営業利益 令和元年度 6,843 千円 平成30年度 7,309 千円 前年比 93.6%</p> <p>②キャッシュレス決済の拡大</p> <p>7月からファミペイ（ファミリーマート専用バーコード決済）、10月からはマルチポイントを導入したことにより新規顧客が増えた。また、レジもスムーズに利用でき、混雑が緩和できた。</p> <p>③キャッシュレス決済2%還元</p> <p>10月からの増税による買い控えを想定し、ファミペイなどと連携し、購買意欲を刺激する取り組みを行った。</p>
-----------------------------	---	---	--

<p>レストラン「獅子銀」</p>	<p>・対前年度 105.7% ・対前々年度 100.0%</p>	<p>・対前年度 94.6% ・対前々年度 92.8%</p>	<p>①QRコード決済PayPay導入 4月下旬より導入。ランチタイムの新規顧客が増え、売上げが伸びた。</p> <p>②季節毎のキャンペーンを実施 5月は母の日、6月は父の日の特別メニューを実施。7月中旬～下旬、8月下旬に生ビールフェアを開催した。</p> <p>2月下旬にはアンケートを実施し、回答されたお客様へ割引DMはがきを送付した。</p>
<p>「駅ラーメン 華」</p>	<p>・対前年度 108.2% ・対前々年度 124.6%</p>	<p>・対前年度 95.6% ・対前々年度 101.9%</p>	<p>①利用状況 9月から定休日を設けたことで客数は減ったが、セットメニューが定着し、ディナータイムのお客様が増えたことが売上増に繋がった。</p>
<p>アロマリラクゼーションサロン 「もみの木HOUSE」</p>	<p>・対前年度 (通期) 239.4% ・対前年度 (11～3月) 103.2%</p>	<p>・対前年度 (通期) 192.1% ・対前年度 (11～3月) 78.5%</p>	<p>①利用状況 1日平均売上 26千円 客単価 6.6千円 1日平均客数 4人 はじめましてクーポンを作成して情報コーナーに配置。10%OFF特典付き商品券を母の日用に販売し、新規顧客の開拓を行った。また、オリジナルアロマオイルを2点開発して、既存顧客にSNSで発信し、来店頻度が高くなるよう工夫した。</p>

クイックマッサージ 「リフレッシュス ペースいやしやさ ん」	売上実績 492 千円	客数 167 人	① 5 月 18 日オープン後の状況 毎週土・日曜日に開店。 固定客がつつあるが、道 の駅独自のキャンペーンで、さ らなる客数と営業日数を増やす ことが課題である。
---	----------------	-------------	---

(参考) 「道の駅 とうじょう」の周辺環境数値

項 目	令和元年度	平成 30 年度	比較増減
ひょうご東条 I C 出入交通量	1,566,832 台	1,533,130 台	33,702 台増
同一日当たり平均	4,280 台	4,200 台	80 台増
南山地区人口	1,742 人	1,610 人	132 人増
おもちゃ王国入場者数	424,093 人	497,323 人	73,230 人減
清水寺参拝者数	85,747 人	93,154 人	7,407 人減
インターパーク企業数	28 社	28 社	増減なし
ゴルフ場利用者数	807,101 人	794,210 人	12,891 人増

2. 会社の概況 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

(1) 発行済み株式の総数 550 株

(2) 株主と出資状況

株 主	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
加 東 市	275	50.0%
みのり農業協同組合	175	31.8%
加東市商工会	40	7.3%
兵庫県釣針協同組合	20	3.6%
東条農業者連合	20	3.6%
コスモス会	20	3.6%

※小数点以下を四捨五入しているため、持株比率の合計は 100% になりません。

取締役および監査役

役 職	氏 名
代表取締役社長	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
監 査 役	
監 査 役	

従業員の状況

雇用区分	氏 名
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	

パートアルバイト社員

部 署	人 数
事務所（事務）	1 人
特産館（販売）	6 人
コスモスの館（販売）	8 人
コンビニ	11 人

3. その他の特記事項

日 時	特 記 事 項
平成 31 年 4 月 8 日（月）	無量壽寺 「仏教の日」
令和元年 7 月 6 日（土）	おもちゃ王国 プール開き
令和元年 8 月 7 日（水）	加東市 花火大会（於：東条湖）
令和元年 8 月 15 日（木）	台風 10 号の影響により 特産館・コスモスの館は 12 時閉店
令和元年 9 月 9 日（月）	定休日 床ワックス掛け等施設清掃
令和元年 9 月 23 日（月・祝）	乾杯まつり

令和元年 10 月 1 日 (火)	消費税 10%、軽減税率導入開始
令和元年 10 月 5 日 (土) ～6 日 (日)	はたらく車大集合 (於：おもちゃ王国)
令和元年 10 月 12 日 (土)	台風 19 号の影響により 特産館・コスモスの館は 16 時閉店
令和元年 12 月 30 日 (月) ～令和 2 年 1 月 1 日 (水)	レストラン獅子銀 年末年始休暇
令和元年 12 月 31 日 (火) ～令和 2 年 1 月 1 日 (水)	特産館・コスモスの館 年末年始休暇
令和 2 年 2 月 14 日 (金)	特産館・直売所クレジットカード取扱開始
令和 2 年 2 月 26 日 (水)	レストラン獅子銀 LED 設備工事のため臨時休業
令和 2 年 3 月 9 日 (月)	定休日 床ワックス掛け等施設清掃

参考資料

令和元年度 道の駅とうじょう オリジナル商品等の売上状況

広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況

道の駅とうじょう 利用状況

道の駅とうじょう 売上状況

決算報告書

第 21 期

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

株式会社 夢街人とうじょう

加東市南山 1 丁目 5 番地 3

貸借対照表

令和 2年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 68,702,703】	【流動負債】	【 24,742,267】
現金・預金	55,866,540	買掛金	15,276,218
売掛金	700,796	未払金	8,701,832
売掛金クレジット	896,525	源泉預り金	130,117
商 品	6,726,890	住民預り金	174,000
販売委託商品	89,953	未払法人税等	460,100
貯 蔵 品	307,126	【固定負債】	【 7,070,000】
短期貸付金	2,645,203	預り保証金	7,070,000
立 替 金	889,320		
未 収 入 金	226,300		
仮 払 金	4,326		
消費税預け金	367,598		
預 け 金	8,126		
貸倒引当金	△26,000	負債合計	31,812,267
【固定資産】	【 54,320,463】	純資産の部	
[有形固定資産]	[39,113,516]	【株主資本】	【 91,210,899】
建 物	27,602,881	[資 本 金]	[30,000,000]
建物附属設備	4,480,399	[利益剰余金]	[61,210,899]
機 械 装 置	6,646,064	利益準備金	5,060,000
車両運搬具	1	(その他利益剰余金)	(56,150,899)
什 器 備 品	384,171	別途積立金	5,000,000
[無形固定資産]	[15,178,347]	繰越利益剰余金	51,150,899
繰延資産	14,412,590	(うち当期純利益)	(4,911,241)
ソフトウェア	765,757		
[投資その他の資産]	[28,600]		
出 資 金	8,600		
保 証 金	20,000	純資産合計	91,210,899
資産合計	123,023,166	負債・純資産合計	123,023,166

損 益 計 算 書

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【純 売 上 高】		
商 品 売 上 高	75,049,873	
獅 子 銀 売 上 高	4,800,000	
コ ン ビ 〃 ニ 売 上 高	210,276,887	
駅 ラ ー メ ン 華	1,920,000	
公 衆 電 話 自 販 機 売 上	1,502,778	
営 業 収 入	2,516,135	
管 理 委 託 収 入	4,491,597	
直 売 所 売 上	139,672,122	
も み の 木 売 上	720,000	
癒 し や 売 上	170,000	441,119,392
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	7,386,469	
商 品 仕 入 高	167,588,888	
コ ン ビ 〃 ニ 仕 入	149,797,702	
商 品 廃 棄 損	△7,177,163	
管 理 委 託 費	4,514,355	
合 計	322,110,251	
期 末 棚 卸 高	6,726,890	315,383,361
売 上 総 利 益		125,736,031
【販 売 費 及 び 一 般 管 理 費】		122,459,579
営 業 利 益		3,276,452
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	52,471	
貸 倒 引 当 金 戻 入	14,000	
雑 収 入	2,921,829	2,988,300
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	18,053	18,053
経 常 利 益		6,246,699
税 引 前 当 期 純 利 益		6,246,699
法 人 税 等 充 当 額		1,335,458
当 期 純 利 益		4,911,241

販売費及び一般管理費

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日 (単位：円)

科 目	金 額
役 員 報 酬	336,000
給 料 手 当	35,520,935
賞 与	4,506,350
退 職 金	10,000
ハートフルハイク給与	13,460,659
法 定 福 利 費	5,909,041
福 利 厚 生 費	1,108,545
広 告 宣 伝 費	4,607,602
運 賃	321,623
容 器 包 装 費	779,701
リ ー ス 料	323,448
水 道 光 熱 費	6,209,624
車 両 関 連 費	250,392
事 務 用 消 耗 品 費	134,478
消 耗 品 費	2,353,795
支 払 保 険 料	347,140
修 繕 費	4,671,774
租 税 公 課	450,700
減 価 償 却 費	6,343,439
接 待 交 際 費	172,622
旅 費 交 通 費	1,271,213
通 信 費	551,682
支 払 手 数 料	2,492,260
会 議 費	181,807
諸 会 費	167,640
図 書 教 育 費	16,732
貸 倒 引 当 金 繰 入	26,000
本 部 フ ィ ー	18,727,505
保 守 管 理 費	1,774,574
不 良 品 廃 棄	7,106,152
雑 費	2,326,146
合 計	122,459,579

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 平成 31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000
利益剰余金		
利益準備金	当期首残高	5,000,000
	当期変動額	60,000
		(剰余金から準備金への振替)
	当期末残高	5,060,000
その他利益剰余金		
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	5,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	46,899,658
	当期変動額	△600,000
		(剰余金の配当)
		△60,000
		(剰余金から準備金への振替)
		当期純利益
		4,911,241
	当期末残高	51,150,899
利益剰余金合計	当期首残高	56,899,658
	当期変動額	4,311,241
	当期末残高	61,210,899
株主資本合計	当期首残高	86,899,658
	当期変動額	4,311,241
	当期末残高	91,210,899
純資産合計	当期首残高	86,899,658
	当期変動額	4,311,241
	当期末残高	91,210,899

個 別 注 記 表

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法

(平成10年4月1日以降に取得した建物・平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物は定額法)

② 無形固定資産

定額法

③ 繰延資産

定額法

(3) 収益及び費用の計上基準

収益・・・・・・実現主義

費用・・・・・・発生主義

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式（発行済株式）

当期末株式数（発行済普通株式）

550株

4. その他の注記

監 査 報 告

私監査役は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第21期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和 2年5月21日

監 査 役

監 査 役

報 告 書

前記の通りご報告申し上げます。

令和 2年5月21日

株式会社夢街人とうじょう

代表取締役

比較決算報告書

第 21 期

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

株式会社 夢街人とうじょう

加東市南山 1丁目 5番地 3

比較貸借対照表

令和 2年 3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比
【流 動 資 産】	【 68,702,703】	【 56,784,339】	【 11,918,364】	【 120.9】
現金・預金	55,866,540	45,267,239	10,599,301	123.4
売掛金	700,796	453,427	247,369	154.5
売掛金クレジット	896,525		896,525	
商 品	6,726,890	7,386,469	△659,579	91.0
販売委託商品	89,953	93,654	△3,701	96.0
貯 蔵 品	307,126	436,609	△129,483	70.3
F C 貸付金	2,645,203	1,643,610	1,001,593	160.9
立 替 金	889,320	934,973	△45,653	95.1
未 収 入 金	226,300	248,975	△22,675	90.8
消費税預け金	367,598	321,009	46,589	114.5
預 け 金	8,126	8,126	0	100.0
仮 払 金	4,326	4,248	78	101.8
貸倒引当金	△26,000	△14,000	△12,000	185.7
【固 定 資 産】	【 54,320,463】	【 60,489,202】	【 △6,168,739】	【 89.8】
[有形固定資産]	[39,113,516]	[44,015,491]	[△4,901,975]	[88.8]
建 物	27,602,881	29,433,765	△1,830,884	93.7
建物附属設備	4,480,399	5,083,112	△602,713	88.1
機 械 装 置	6,646,064	8,781,417	△2,135,353	75.6
車両運搬具	1	1	0	100.0
什 器 備 品	384,171	717,196	△333,025	53.5
[無形固定資産]	[15,178,347]	[16,445,111]	[△1,266,764]	[92.2]
繰延資産	14,412,590	15,424,103	△1,011,513	93.4
ソフトウェア	765,757	1,021,008	△255,251	75.0
[投資その他の資産]	[28,600]	[28,600]	[0]	[100.0]
出 資 金	8,600	8,600	0	100.0
保 証 金	20,000	20,000	0	100.0
資 産 合 計	123,023,166	117,273,541	5,749,625	104.9
【流 動 負 債】	【 24,742,267】	【 23,303,883】	【 1,438,384】	【 106.1】
買 掛 金	15,276,218	15,291,766	△15,548	99.8
未 払 金	8,701,832	6,356,696	2,345,136	136.8
預 り 金		108,730	△108,730	
従業員預り金		△558	558	
源泉預り金	130,117	111,549	18,568	116.6
住民預り金	174,000	138,100	35,900	125.9
未払法人税等	460,100	1,297,600	△837,500	35.4

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対 前 期 比
【固 定 負 債】	【 7,070,000】	【 7,070,000】	【 0】	【 100.0】
預り保証金	7,070,000	7,070,000	0	100.0
負債合計	31,812,267	30,373,883	1,438,384	104.7
【株 主 資 本】	【 91,210,899】	【 86,899,658】	【 4,311,241】	【 104.9】
資 本 金	30,000,000	30,000,000	0	100.0
[利 益 剰 余 金]	[61,210,899]	[56,899,658]	[4,311,241]	[107.5]
利 益 準 備 金	5,060,000	5,000,000	60,000	101.2
(その他利益剰余金)	(56,150,899)	(51,899,658)	(4,251,241)	(108.1)
別 途 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	100.0
繰越利益剰余金	51,150,899	46,899,658	4,251,241	109.0
(うち当期純利益)	(4,911,241)	(6,186,455)	(△1,275,214)	(79.3)
純 資 産 合 計	91,210,899	86,899,658	4,311,241	104.9
負債・純資産合計	123,023,166	117,273,541	5,749,625	104.9

比較損益計算書

自 平成 31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対前期増減	対前期比
				%
【純売上高】	【 441,119,392】	【 438,177,111】	【 2,942,281】	【 100.6】
商品売上高	75,049,873	75,792,896	△743,023	99.0
獅子銀売上高	4,800,000	4,800,000	0	100.0
コンビニ売上高	210,276,887	207,100,337	3,176,550	101.5
駅ラーメン華	1,920,000	1,920,000	0	100.0
もみの木売上	720,000	290,000	430,000	248.2
癒しや売上	170,000		170,000	
公衆電話自販機売上	1,502,778	1,498,653	4,125	100.2
営業収入	2,516,135	2,040,743	475,392	123.2
管理委託収入	4,491,597	4,491,596	1	100.0
直売所売上	139,672,122	140,242,886	△570,764	99.5
【売上原価】	【 315,383,361】	【 312,055,398】	【 3,327,963】	【 101.0】
期首棚卸高	7,386,469	6,694,071	692,398	110.3
商品仕入高	167,588,888	167,570,567	18,321	100.0
コンビニ仕入	149,797,702	148,195,113	1,602,589	101.0
商品廃棄損	△7,177,163	△7,509,480	332,317	95.5
管理委託費	4,514,355	4,491,596	22,759	100.5
期末棚卸高	6,726,890	7,386,469	△659,579	91.0
売上総利益	125,736,031	126,121,713	△385,682	99.6
【販売費及び一般管理費】	【 122,459,579】	【 120,956,662】	【 1,502,917】	【 101.2】
営業利益	3,276,452	5,165,051	△1,888,599	63.4
【営業外収益】	【 2,988,300】	【 4,011,172】	【 △1,022,872】	【 74.4】
受取利息	52,471	52,589	△118	99.7
貸倒引当金戻入	14,000	19,200	△5,200	72.9
雑収入	2,921,829	3,939,383	△1,017,554	74.1
【営業外費用】	【 18,053】	【 16,583】	【 1,470】	【 108.8】
雑損失	18,053	16,583	1,470	108.8
経常利益	6,246,699	9,159,640	△2,912,941	68.1
【特別損失】		【 1,222,400】	【 △1,222,400】	
固定資産圧縮損		800,000	△800,000	
固定資産除却損		422,400	△422,400	
税引前当期純利益	6,246,699	7,937,240	△1,690,541	78.7
法人税等充当額	1,335,458	1,750,785	△415,327	76.2
当期純利益	4,911,241	6,186,455	△1,275,214	79.3

比較販売費及び一般管理費

自 平成 31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
役 員 報 酬	336,000	336,000	0	100.0
給 料 手 当	35,520,935	35,500,257	20,678	100.0
賞 与	4,506,350	4,685,700	△179,350	96.1
退 職 金	10,000	227,542	△217,542	4.3
法 定 福 利 費	5,909,041	5,936,322	△27,281	99.5
福 利 厚 生 費	1,108,545	1,232,273	△123,728	89.9
ハートフルハト給与	13,460,659	12,535,944	924,715	107.3
広 告 宣 伝 費	4,607,602	4,956,048	△348,446	92.9
運 賃	321,623	406,485	△84,862	79.1
容 器 包 装 費	779,701	744,273	35,428	104.7
リ ー ス 料	323,448	326,928	△3,480	98.9
本 部 フ ィ ー	18,727,505	18,620,476	107,029	100.5
水 道 光 熱 費	6,209,624	6,187,744	21,880	100.3
車 両 関 連 費	250,392	199,641	50,751	125.4
事 務 用 消 耗 品 費	134,478	133,389	1,089	100.8
消 耗 品 費	2,353,795	2,308,082	45,713	101.9
支 払 保 險 料	347,140	376,880	△29,740	92.1
修 繕 費	4,671,774	1,310,632	3,361,142	356.4
租 税 公 課	450,700	468,133	△17,433	96.2
減 価 償 却 費	6,343,439	7,264,830	△921,391	87.3
接 待 交 際 費	172,622	86,210	86,412	200.2
旅 費 交 通 費	1,271,213	1,478,349	△207,136	85.9
通 信 費	551,682	549,705	1,977	100.3
支 払 手 数 料	2,492,260	3,274,711	△782,451	76.1
会 議 費	181,807	173,008	8,799	105.0
諸 会 費	167,640	174,160	△6,520	96.2
図 書 教 育 費	16,732	51,889	△35,157	32.2
貸 倒 引 当 金 繰 入	26,000	14,000	12,000	185.7
保 守 管 理 費	1,774,574	1,654,259	120,315	107.2
不 良 品 廃 棄	7,106,152	7,266,704	△160,552	97.7
雑 費	2,326,146	2,476,088	△149,942	93.9
合 計	122,459,579	120,956,662	1,502,917	101.2

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 平成 31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

		当 期	前 期
株主資本			
資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000	30,000,000
利益剰余金			
利益準備金	当期首残高	5,000,000	5,000,000
	当期変動額	60,000	0
		剰余金から準備金への 振替	
	当期末残高	5,060,000	5,000,000
その他利益剰余金			
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	5,000,000	5,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	46,899,658	40,713,203
	当期変動額	△600,000	0
		剰余金の配当	
		剰余金から準備金への 振替	
		当 期 純 利 益	
	当期末残高	4,911,241	6,186,455
利益剰余金合計	当期首残高	56,899,658	50,713,203
	当期変動額	4,311,241	6,186,455
	当期末残高	61,210,899	56,899,658
株主資本合計	当期首残高	86,899,658	80,713,203
	当期変動額	4,311,241	6,186,455
	当期末残高	91,210,899	86,899,658
純資産合計	当期首残高	86,899,658	80,713,203
	当期変動額	4,311,241	6,186,455
	当期末残高	91,210,899	86,899,658

参考資料

第21期（令和元年度） 部門別損益計算書

參考資料

○部門別人件費資料（令和2年3月31日現在）

第22期 事業計画

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

1. 重点事項

- (1) 当道の駅施設が利用者にとって有効に機能する様に創意工夫に努め、道の駅の3大機能である「休憩」・「情報交流」・「地域の連携」を体感できる、安全で活力のある道の駅の運営を目指す。
- (2) 施設の設置目的である地場産品の展示販売による消費の拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して来駅者と地域住民の交流を促し、活性化に貢献できるような企画を立案し、実行する。

2. 各事業別実施項目

<道の駅とうじょう>

- (1) 行政との連携を強化する。

市内及び北播地域のイベントに積極的に参加し、加東市の物産をPRして地域産業の振興に寄与できるよう努める。

兵庫県道の駅連絡会、近畿道の駅連絡会のネットワークを通して他の道の駅との連携を強化し、集客アップの企画、イベント情報や事故発生時の対応などの情報を共有し、安全で楽しい道の駅の運営に活かす。

- (2) 農産物直売所と特産館が一体となって両売場の動線の工夫を凝らし、相乗効果による売上げ及び利用者の増加を目標とする。
- (3) 年に一度、利用者の多い月に施設状況や品揃え、価格、接客等に関してアンケートを実施し、利用者の満足度を把握し健全な運営に活かす。
- (4) 「情報・休憩コーナー」の整理整頓に努め、北播地域及び県下のタイムリーかつ優良な情報と、気持ちよく過ごせる場所を提供出来るよう創意工夫に努める。
- (5) 道の駅の従業員として誇りを持って職務を遂行できるよう、従業員がお互いに協力し合い、職場環境を整え、秩序の保持に努める。

<特産館・夢街人>

- (1) 地域産品の充実

山田錦を使用した菓子類、酒類、北播地区事業者の商品を増やす。

(2) 土産品の強化

売上げが見込め、かつ利益率の高い菓子類を増やして収益率の向上を図る。

北播地区ご当地カレー、神戸ブランド菓子類、明石地区海産物

(3) 兵庫県を中心に全国の名産品の品揃えの強化

ひょうご五つ星商品を増加。

(4) 近隣のゴルフ場での特産品・土産品の展示販売

季節に応じた商品の陳列（常設）をはじめ、先方担当者とコミュニケーションを取りコンペやイベントの情報を入手し、売上拡大及び来客に繋げる。

(5) 営業日及び営業時間について（昨年同様）

原則、毎日営業日とする。（不定休：メンテナンスの為の休業、年末年始）

人件費、営業効率面から9月～12月、3月～6月の閉店時間を平日は午後6時30分、土日祝日は午後7時、客数が増加する7月、8月は全日午後7時、客数が減少する1月、2月は閉店時間を全日午後6時とする。

<農産物直売所・コスモスの館>

(1) 現在休止している新規生産者の募集をできるだけ早く再開し、地元農産物の活性化を図る。

(2) ふるさと納税返礼品について今期より丹波黒枝豆を新規登録し、ネット掲載により販路拡大を図り売上拡大に努める。

(3) 地場野菜の売上構成比を上げる。

(4) 加東市オリジナルブランド農産物の開発に取り組む。今年度は新種の早生枝豆を開発する。

(5) 新しい販促ツールを使って売場展開に変化をつけ、既存顧客を飽きさせないよう工夫する。

(6) 特産館と同様、営業日及び季節による営業時間の変更を実施する。

<コンビニ・ファミリーマート>

(1) 収益率の向上と廃棄率の抑制に努める。

賞味期限の短い日配商品（米飯商品類、サンドイッチ類）はイベントや天気予報で客数を予測した在庫管理を行い、売上げと納品数量のバランスをとる。（発注調整）

(2) レジャー以外の平日早朝、ランチタイムの売り逃しがないよう、弁当・おにぎり、フライヤー商品といった「中食」を充実させる。

(3) キャッシュレス・消費者還元事業に引き続き、マイナポイント利用者の利便性

を高めるため、キャッシュレス決済についてより利便性を高める。

<レストラン・獅子銀>

- (1) 今後も増加の見込める近隣企業の従業員やトラック運転手等への対応としてランチメニューをより強化する。
- (2) 季節ごとのキャンペーンを実施する。
母の日・父の日特別メニュー、生ビール小鉢2品付、アンケート回答者に割引ハガキを送付
- (3) 時間帯別メニューのPRを図る。
午前9時から11時までの朝食メニュー、午後2時から5時中心のデザートメニュー、午後5時以降の一品メニュー
- (4) 季節ごとの特別メニューのPRを図る。
夏場のうな重、フラッペ、冬場の鍋メニューのPR
- (5) 持ち帰りメニューを実施する。
従来のお弁当に加えて、トンカツ、エビフライなど1個から揚げたてをテイクアウトできるようPRし、新型コロナウイルス感染症による売上げの減少をカバーするよう努める。

<駅ラーメン・華(はな)>

- (1) 平日ランチタイムの常連客を更に増やすため、ポイントカード導入を検討する。
- (2) 17時以降の一品メニューを開発する。
- (3) 創業月である3月、また期間限定で女性やお子様向けにプレゼントを渡すなど、新規客を増やすキャンペーンを実施する。

<アロマリラクゼーションサロン・もみの木HOUSE>

- (1) 新規顧客の開拓に努める。
 - ・既存顧客お客様紹介プレゼント、はじめてクーポンキャンペーン（初回35%OFF）
 - ・特産館でオリジナルアロマオイル、スプレーを販売して、道の駅では珍しいアロマリラクゼーションをPRする。
- (2) 女性用お手洗い・情報コーナーに、季節に応じたアロマ効能（集中力アップ、免疫力アップ）の宣伝POPを配置して興味を持ってもらうよう促し、来店に繋げる。

<クイックマッサージ・リフレッシュスペースいやしやさん>

(1)新規顧客の開拓に努める。

営業日当日は特産館と直売所お買上げレシートで、料金100円引きを実施する。

(2)もみの木HOUSEと同様、道の駅のみ利用できるはじめてクーポンキャンペーンを実施する。

(3)営業日には道の駅店内においてアナウンスを行い、集客につなげる。

<情報・休憩コーナー>

(1)北播地域を中心に、正確でタイムリーな情報を効率よく提供出来るよう工夫する。ポスター、チラシの優先順位を明確化し、常に整理整頓に努める。

(2)地元加東市の求人情報コーナーの設置（継続）

(3)清潔でくつろげる空間の維持管理の為、利用者にマナー順守を促すPOPを配置する。

3. 施設管理の計画

施設名	営業時間	休館日
特産館 (夢街人)	平日:午前9時～午後6時30分 土日祝:午前9時～午後7時 ※1月、2月は全日午後6時閉店 7月、8月は全日午後7時閉店	不定休 年度内数日休 年末年始
農産物直売所 (コスモスの館)	特産館に準じる。	特産館に準じる。
コンビニエンスストア (ファミリーマート)	24時間営業	無休
レストラン (獅子銀)	午前9時～午後9時 (L.O.は午後8時30分)	年末年始
レストラン (駅ラーメン華)	平日:午前11時～午後3時 午後5時～午後9時 土日:午前11時～午後9時	毎週木曜日

アロマリラクゼーションサロン (もみの木HOUSE)	午前10時～午後6時 (最終受付 午後5時)	毎週月曜日
クイックマッサージ (リフレッシュスペースいやしやさん)	土・日営業 午前10時～午後5時	
情報・休憩室	24時間開放	無休
トイレ	24時間使用可	無休

■ 勤務時間

- 特産館 : 午前8時45分から午後6時45分まで
(土日祝、7月、8月の午後7時閉店時は午後7時15分まで、
1、2月の午後6時閉店時は午後6時15分まで勤務。)
- 直売所 : 特産館に準じる。
- コンビニ : 午前6時から翌午前6時まで

■ 勤務体制

特産館 (総務を含む。)

社員 (駅長、経理担当社員)、パート従業員のシフト表による1箇月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制

直売所

社員 (部長)、パート従業員のシフト表による1箇月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制

コンビニ

社員 (店長、マネージャー)、パート従業員のシフト表による1箇月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制 (※深夜勤務有り)

収 支 計 画

収入の部

支出の部

総務

(単位：千円)

項目	2年度	元年度	差 額	前期比	項目	2年度	元年度	差 額	前期比
売 上	13,000	13,604	△ 604	95.6%	売上原価	4,520	4,514	6	100.1%
					人件費	8,100	8,111	△ 11	99.9%
					光熱水費	1,130	1,128	2	100.2%
					一般管理費	13,500	15,320	△ 1,820	88.1%
営業外収入	2,000	2,189	△ 189	91.4%	営業外費用	20	22	△ 2	0.0%
合 計	15,000	15,793	△ 793	95.0%	合 計	27,270	29,095	△ 1,825	93.7%
					収支差額	△ 12,270	△ 13,302	1,032	108.4%

特産館「夢街人」

(単位：千円)

項目	2年度	元年度	差 額	前期比	項目	2年度	元年度	差 額	前期比
売 上	68,500	75,050	△ 6,550	91.3%	売上原価	47,500	51,622	△ 4,122	92.0%
					人件費	10,000	10,093	△ 93	99.1%
					光熱水費	790	788	2	100.3%
					一般管理費	2,600	2,662	△ 62	97.7%
営業外収入	0	0	0	0.0%	営業外費用	8	8	0	100.0%
合 計	68,500	75,050	△ 6,550	91.3%	合 計	60,898	65,173	△ 4,275	93.4%
					収支差額	7,602	9,877	△ 2,275	77.0%

農産物直売所 「コスモスの館」

(単位：千円)

項目	2年度	元年度	差 額	前期比	項目	2年度	元年度	差 額	前期比
売 上	140,000	139,672	328	100.2%	売上原価	116,500	116,195	305	100.3%
					人件費	13,000	13,323	△ 323	97.6%
					光熱水費	955	951	4	100.4%
					一般管理費	6,900	7,159	△ 259	96.4%
営業外収入	730	723	7	101.0%	営業外費用	0	0	0	0.0%
合 計	140,730	140,395	335	100.2%	合 計	137,355	137,628	△ 273	99.8%
					収支差額	3,375	2,767	608	122.0%

コンビニエンスストア 「ファミリーマート」

(単位：千円)

項目	2年度	元年度	差 額	前期比	項目	2年度	元年度	差 額	前期比
売 上	200,000	210,277	△ 10,277	95.1%	売上原価	136,000	143,053	△ 7,053	95.1%
営業収入	2,400	2,516	△ 116	95.4%	人件費	29,000	29,325	△ 325	98.9%
					光熱水費	3,350	3,343	7	100.2%
					一般管理費	29,500	30,167	△ 667	97.8%
営業外収入	0	0	0	0.0%	営業外費用	0	0	0	0.0%
合 計	202,400	212,793	△ 10,393	95.1%	合 計	197,850	205,888	△ 8,038	96.1%
					収支差額	4,550	6,905	△ 2,355	65.9%

総合計

(単位：千円)

項目	2年度	元年度	差 額	前期比	項目	2年度	元年度	差 額	前期比
売 上	421,500	438,603	△ 17,103	96.1%	売上原価	304,520	315,384	△ 10,864	96.6%
営業収入	2,400	2,516	△ 116	95.4%	人件費	60,100	60,852	△ 752	98.8%
					光熱水費	6,225	6,210	15	100.2%
			0		一般管理費	52,500	55,308	△ 2,808	94.9%
営業外収入	2,730	2,912	△ 182	93.8%	営業外費用	28	30	△ 2	93.3%
合 計	426,630	444,031	△ 17,401	96.1%	合 計	423,373	437,784	△ 14,411	96.7%
					収支差額	3,257	6,247	△ 2,990	52.1%

※収支差額：経常利益 ※法人税等は含まず